

答

文化庁では防護柵という
ことで認められるが、今
年度の申請は終わっており、村
の文化財等災害復旧費補助金事
業の対象としたいものです。

討論

反対討論

今年度の工事にせず、来年度
文化庁に申請をして工事に入る
べきである。

賛成討論

申請漏れの非を認めることと
して、賛成。

●住民課関係

*広域ごみ処理場建設費に対す
る北アルプス広域連合への負担
金に1732万5千円の増額。

●健康福祉課関係

*国の地域介護・福祉空間整備
推進交付金が2カ所の予算計上
であったが、1カ所になったた
め3346万4千円の減額。
*第3子通園の幼稚園への補助
金と児童手当に273万円の増
額。

*ふれあいセンター外壁工事に
162万円の増額。

▽委員多数の賛成により可決す
べきものと決定。

●年金積立金の専ら被保険者の
利益のための安全かつ確実な運
用に関する意見書の採択を求め
る陳情書

年金積立金は、被保険者の利益
のために、長期的な観点から安
全かつ確実な運用を行うべきも
のである。年金積立金管理運用
独立行政法人(GPIF)には
被保険者の意思を反映できる体
制がなく、政府が一方的に方向
性を示し、見直しが進められて
いることは問題である。年金積
立金が毀損した場合、厚生労働
大臣やGPIFが責任をとるわ
けではなく、被保険者・受給者
が被害をこうむる。国会および
関係行政庁に意見書を提出する
ことを要請する。

▽委員全員の賛成により採択す
べきものと決定。

●介護労働者の処遇改善及び人 員配置基準の改善を求める陳情

現在、多くの施設で法定の人員
配置基準以上の配置をしている
が、経営維持のために人員配置
の引き下げに向かえば、利用者
の安全や介護の質にも影響を及
ぼしかねない。国の責任におい
て、介護現場で働くすべての労
働者の処遇改善、人員配置基準
の改善を図るために、関係大臣
に意見書を提出するよう陳情す
る。

意見

介護職員は常時募集しているが、
応募がない。

▽委員全員の賛成により採択す
べきものと決定。



ごみ処理対策委員・議員らで
リサイクル広場(長野市)などを視察

産業経済委員会 での審議

●村道路線の認定

みそら野 トーカンにある道
路67m 落倉にある道路
125・9m

問

除雪はどうなるのか。

答

除雪はすでに行っている
路線。

▽委員全員の賛成により可決す
べきものと決定。

●白馬村病害虫防除基金の管

理・設置及び処分に関する条例
の廃止

基金残高が39万円余りと少額
で、廃止するもの。

特定の病害虫とは。

問

野鼠、稲水ゾウムシなど
8項目。

▽委員全員の賛成により可決す
べきものと決定。

●平成27年度白馬村一般会計補
正予算(6号)

●農政課関係

*狩猟免許更新に伴う13名分の
経費20万6000円。

*災害復旧工事費(単独)本年
度3月までに支出見込みに10
00万円。

*災害復旧事業(補助)農地1
91カ所、施設が73カ所で測量
設計委託不足分3260万円。

●建設課関係

*地震関連の維持補修と冬季の
穴埋めに900万円。

*過年発生公共土木施設災害復
旧事業(単独)、単独災害と小
災害復旧事業1364万300
0円。

*過年発生公共土木施設災害復
旧事業(補助)5991万7千
円は現在予算計上してある分に
不足する6091万7000円
の補正、用地費100万円の減
額は単独費で支出するので、補
助から減額。

問

毎年同じ個所で穴が開い
ているが。

答

去年多くでていた105
号線の個所は対処してい
る。

●観光課関係

*梅池と五竜を結ぶシャトルバ
スを運行する経費の一部負担金
50万円。

問

白馬観光開発で運行した
ものはなくなるのか。

答

去年までは八方、岩岳
梅池を結ぶ無料シャトル
車を動かしていた。有料化し白馬
駅や五竜まで伸ばした。

▽委員全員の賛成により可決す
べきものと決定。

●平成27年度白馬村下水道事業
特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算の総額から歳入歳
出それぞれ560万2000円
を増額し、歳入歳出予算の総額
から歳入歳出それぞれ6億77
11万円とするもの。

●一般管理事業

*確定申告による消費税不足分
472万4000円。

*過年発生公共下水道施設災害
復旧事業(単独)。
*災害復旧の追加分を172万
8000円。